

## 「<資産運用コンサルティングのポイント Vol.18～ ファンドラップ人気の波に乗るべきなのか？ ～後篇～>」



株式会社ZUUの富田和成です。前回は、ファンドラップとは何かという基礎的な部分を紹介いたしました。今回は、具体的なメリット・デメリットを詳しく見ていきます。

### ■ファンドラップのメリット

まず、ラップ口座のメリットは投資のプロに投資を委託できる、売買時の手数料がかからない（手数料目当ての回転売買などが行われない）、自分ができるリスクを事前に極細かく決められることという点が挙げられます。

投資一任契約を結び金融機関に任せるので、自分であれこれ考えたくないという人には、専門家から自分の投資方針に合ったポートフォリオを提案してもらえる安心感があるのではないのでしょうか。

また、運用ポートフォリオを最初に決めてしまえば、第三者が運用するので、マーケットが急変した際にも狼狽売りをしてしまうなど、感情的な投資行動を避けやすくなるというメリットがあります。

保有期間中は、リスクに応じた資産配分の比率に上下限を設け、相場が変動によりその範囲を超えた場合には、最初に決めた資産配分比率にもどす売買をおこないます。これを「リバランス」効果といい、ファンドラップの特徴と言えます。

### ■ファンドラップのデメリット

次に、ファンドラップのデメリットについて見ていきましょう。最大のデメリットは、その手数料（コスト）の高さにあります。一般的に投資信託はコストが高いと言われることが多いですが、その投資信託と比較してもさらに高くなる傾向にあります。信託報酬とファンドラップフィーを合わせると手数料率が2%～3%近くなる例もあります。その結果として、「投資のリターン以上に手数料率がかかってしまった」といったことにならないよう注意が必要です。

例えば、合計手数料率が3%だったとしましょう。1000万円の資金を預けると年間で30万円ほどになります。この30万円をETFなどの他の資産で分散投資をするという選択肢も検討することができます。ファンドラップによる分散投資効果は、安い手数料で購入することができるETFを組み合わせることで十分得ることができます。

販売推進をする上で、営業員への社内インセンティブをつけて積極的に販売を強化している実態もあり、本来顧客が求めている提案とは言い難い部分も残念ながらあります。また、営業員によっては手数料欲しさに、顧客の個別のリスク許容度をきちんと見ること無く、販売してしまう場合もあるようです。

## ■すべての人にとって必要な金融商品ではない

最後に、ラップ口座はすべての人に最適な金融商品とはなり得ないことを覚えておきましょう。一口にラップ口座といっても、ポートフォリオの種類は様々であり、事前に担当者によくその仕組みを理解することが重要です。

そして、投資家自身が分散投資を意識したポートフォリオを構築できれば必ずしも必要な金融商品ではありません。ラップ口座はコスト負担無しに資産の入れ替えができるのがメリットですが、乗り換えをほとんどしない投資家にとっては unnecessary サービスといえます。長期の投資家であればあえて利用する必要はないといえるでしょう。

以上、2回に渡り、今話題のファンドラップについて解説いたしました。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

富田和成 株式会社ZUU 代表取締役社長兼CEO

[http://zuu.co.jp/company/ceo\\_message](http://zuu.co.jp/company/ceo_message)

大学在学中にソーシャルマーケティングにて起業。2006年に一橋大学を卒業後、野村証券株式会社に入社。支店営業にて同年代のトップセールスや会社史上最年少記録を樹立し、最年少で本社の超富裕層向けプライベートバンク部門に異動。その後シンガポールへの駐在、ビジネススクール（金融商品の組成、マーケット・企業分析、ポートフォリオ理論、オルタナティブ投資などを学ぶ）への留学やタイへの駐在などを経て、本店ウェルスマネジメント部で金融資産10億円以上の企業オーナー等への事業承継や資産運用・管理などのコンサルティングを担当。2013年3月に野村証券を退職し、「金融×IT」で時価総額100兆円を超える世界一の企業を創るべく、株式会社ZUUを設立。設立から約1年半で10種類の金融・経済関連メディアを立ち上げ、配信先含めて月間1,000万アクセスを超える日本最大級の金融・経済サイトへと成長させる。月間2万人を超える資産アドバイザーが訪問する専門サイトZUU Advisors Supportを運営するなど専門家向けのサービスも行っている。

参考：ZUU Advisors-Support： <http://support.zuuadvisors.com/>

：ZUU online： <http://zuuonline.com/>

◇今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

### メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP実務研究会事務局では、FP実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP実務研究会事務局【㈱日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488